

平成 22 年 7 月 5 日

各 位

上場会社名 株式会社メディサイエンスプランニング
 (コード番号:2182 大証ヘラクレス)
 本社所在地 東京都中央区東日本橋一丁目1番7号
 代 表 者 代表取締役社長 酒井 杏郎
 問合わせ先 常務執行役員経営管理本部長 野 又 幹 雄
 電 話 番 号 03 (5820) 7614

業績予想の修正及び特別損失の計上見込みに関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 10 月 9 日付「平成 21 年 8 月期 決算短信 (非連結)」にて公表いたしました平成 22 年 8 月期の通期連結業績予想 (平成 21 年 9 月 1 日～平成 22 年 8 月 31 日) を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。また、あわせて特別損失の計上見込みについてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成 22 年 8 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 21 年 9 月 1 日～平成 22 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	7,495	563	552	253	97.74
今 回 修 正 予 想 (B)	6,450	70	60	△90	—
増 減 額 (B - A)	△1,045	△493	△492	△343	
増 減 率 (%)	△13.9	△87.6	△89.1	—	
(ご参考) 前期連結実績 (平成 21 年 8 月期)	—	—	—	—	—

(注) 当社は、当期より連結財務諸表を作成しているため、前期連結実績は記載しておりません。

(2) 平成 22 年 8 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 21 年 9 月 1 日～平成 22 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	6,920	519	509	240	92.41
今 回 修 正 予 想 (B)	6,050	100	90	△50	—
増 減 額 (B - A)	△870	△419	△419	△290	
増 減 率 (%)	△12.6	△80.7	△82.3	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 8 月期)	6,003	445	425	216	84.15

(3) 修正の理由

売上高

売上高が従来予想を13.9%下回る見通しとなったのは、モニタリング業務の売上減がその主な要因であります。新規プロジェクトの受注件数は増加しているものの、上期に発生したプロジェクトの中止、開始遅れに加え、当第3四半期において予定していた大型案件が受注できなかったこと等の理由によりモニタリング業務の売上高が計画を下回る見通しとなりました。

平成22年3月31日付「業績予想の修正に関するお知らせ」において、平成22年8月期通期連結業績予想については不確定要素が含まれる可能性があるため、平成21年10月9日公表の予想値を据え置くこととしておりましたが、当社の主力業務であるモニタリング業務の受注動向等を勘案し、予想数値の達成は厳しいと判断したため、今回、通期売上高予想を修正いたしました。

営業利益・経常利益

営業利益、経常利益が従来予想をそれぞれ87.6%、89.1%下回る見通しとなったのは、上記売上高の減少及びこれに伴うモニター稼働率の低下がその主な要因であります。引き続き業務効率化を図ることで、原価、販売費及び一般管理費ともに当初計画に対し経費削減を進めましたが、固定費を吸収できず、営業利益、経常利益が計画を下回る見通しとなりました。

当期純利益

当期純利益が従来予想を下回る見通しとなったのは、上記の営業利益、経常利益の減少及び昨年10月に実施した社屋統合・移転に伴う臨時費用に加え、「2. 特別損失の計上見込み」に記載の通り、当社一部部門及び連結子会社の移転に伴う特別損失の発生によるものであります。

なお、平成22年8月期の普通株式の期末配当金は、従来通り1株当たり15円を予定しております。

2. 特別損失の計上見込み

(1) 特別損失の内容

当社グループ内の効率化・合理化及びこれに伴う事務所費等の固定費削減を主たる目的として、当社の一部部門及び連結子会社本店の移転（平成22年11月～12月）を決定し、これに伴う原状回復費その他の移転関連費用の概算見積額を移転費用引当金繰入額に計上するとともに、建物（建物附属設備）及び器具備品等に係る除却予定額を減損処理する予定であります。

(2) 今後の見通し

平成22年8月期第4四半期において、移転費用引当金繰入額36百万円及び減損損失9百万円、合計46百万円を特別損失として計上する見込みであります。今回の費用計上は、一過性のものであり、移転によるコスト削減効果としては、每期60百万円程度の賃料減少を見込んでおります。

(注) 上記の業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想値と異なる場合があります。

以 上